
Fiery EX2000シリーズ / Fiery EXP6000 カラーサーバ

脆弱性修正プログラム(MS03-039)適用手順書

このたびは、Fiery EX2000/EX2000d、Fiery EXP6000カラーサーバをご利用いただき、まことにありがとうございます。

本書では、次の製品に対応した脆弱性修正プログラム(MS03-039)の適用方法について説明します。

- ・ Fiery EX2000 カラーサーバ システムソフトウェアバージョン 1.22J
- ・ Fiery EX2000d カラーサーバ システムソフトウェアバージョン 1.22J/2.0J
- ・ Fiery EXP6000 カラーサーバ システムソフトウェアバージョン 1.1J

なお、Fiery EX2000 カラーサーバ システムソフトウェアバージョン 1.1Jをお使いの場合には、修正プログラムを適用する前に、ソフトウェアバージョンをV1.2Jへアップグレードしていただく必要があります。アップグレードに関する詳細につきましては、弊社Color DocuTechシリーズ営業担当者までお問合せください。

補足：本書では、Fiery EX2000を「EX2000」、Fiery EX2000dを「EX2000d」、Fiery EXP6000を「EXP6000」と、それぞれ略します。また、Fiery EX2000、Fiery EX2000d、Fiery EXP6000を総称して、Fieryカラーサーバと略しています。
「システムソフトウェアバージョン 1.22J」を「v1.2J」、「システムソフトウェアバージョン 2.0J」を「v2.0J」、「システムソフトウェアバージョン 1.1J」を「v1.1J」と略します。

脆弱性修正プログラム(MS03-039)について

Fieryカラーサーバでは、オペレーティングシステムとして、Windows NT[®] WorkStation Version 4.0を使用しています。

したがって、MS03-039の脆弱性が存在し、対策を行う必要があります。

当社提供のPatchソフトウェア(1-AX671.ps)を、Fieryカラーサーバに適用してください。

注意：マイクロソフト株式会社のホームページに記載されている確認方法では、本Patchソフトウェアが正しく適用されたことを確認できません。
本書に記載された方法にてご確認ください。

マイクロソフト株式会社より提供されているMS03-039は適用できませんので、ご注意ください。

EX2000/EX2000d v1.2Jでのパッチ適用方法

ここでは、次のFieryカラーサーバに対するパッチのインストール手順、およびパッチ適用の確認方法について説明します。

- ・ Fiery EX2000 カラーサーバ v1.2J
- ・ Fiery EX2000d カラーサーバ v1.2J

1. Fieryカラーサーバのデスクトップ上に、次のPatchソフトウェアをコピーしてください。

- ・ 1-AX671.ps

補足： Patchソフトウェアの入手方法については、弊社営業担当者にお問い合わせください。
また、Patchソフトウェアは、弊社ホームページにでも提供しております。次のURL（アドレス）から、最新の情報をご確認ください。
<http://www.fujixerox.co.jp/>

2. 適用されているPatchソフトウェアがあるかどうかを確認します。
Command WorkStationの[ファイル]メニュー、[ページの印刷]から[設定情報ページ]を選択し、プリントします。

設定情報ページの[更新情報]に、次のPatchソフトウェア名がプリントされていた場合、そのパッチを適用する必要はありません。

- ・ 1-AX671

3. Command WorkStationを用いて、「1-AX671.ps」パッチを、[CDT60 直接接続]へダウンロードします。

Fieryカラーサーバ上で、「使用可能」になった後、60秒お待ちください。

4. システムを再起動します。

Fiery カラーサーバ本体の中心にある3つのボタンの真中のボタンを押してLCDの表示を切り替えます。[終了]、[システムのリブート]の順に選択します。

5. パッチが適用されたことを確認します。

自動的にシステムが2回再起動します。

システムの再起動後に、手順2.を実施し、「1-AX671.ps」パッチがプリントされていることを確認してください。

EX2000d v2.0J/EXP6000 v1.1Jでのパッチ適用方法

ここでは、Fieryカラーサーバに対するパッチのインストール手順について説明します。

- ・ Fiery EX2000d カラーサーバ v2.0J

・ Fiery EXP6000 カラーサーバ v1.1J

1. Fieryカラーサーバのデスクトップ上に、次のPatchソフトウェアをコピーしてください。

・ 1-AX671.ps

補足： Patchソフトウェアの入手方法については、弊社営業担当者にお問い合わせください。
また、Patchソフトウェアは、弊社ホームページにでも提供しております。次のURL（アドレス）から、最新の情報をご確認ください。
<http://www.fujixerox.co.jp/>

2. 適用されているPatchソフトウェアがあるかどうかを確認します。

Command WorkStationの[サーバ]メニューから、[ページの印刷]を選択し、[設定情報ページ]をプリントします。

設定情報ページの[更新情報]に、次のPatchソフトウェア名がプリントされていた場合、そのパッチを適用する必要はありません。

・ 1-AX671

3. Command WorkStationを用いて、「1-AX671.ps」パッチを、[CDT60 直接接続]へインポートします。

Fieryカラーサーバ上が、「使用可能」になった後、60秒お待ちください。

4. システムを再起動します。

EX2000d v2.0J:

Fiery カラーサーバ本体の中心にある3つのボタンの真中のボタンを押してLCDの表示を切り替えます。[終了]、[システムのリポート]の順に選択します。

Windows NTが再起動したらログインし、デスクトップ上のスタートメニューから[シャットダウン]、[コンピュータを再起動する]の順に選択します。

EXP6000 v1.1J:

デスクトップ上のスタートメニューから[シャットダウン]、[コンピュータを再起動する]の順に選択します。

自動的にシステムが2回再起動します。

5. パッチが適用されたことを確認します。

システムの再起動後に、手順2.を実施し、「1-AX671.ps」パッチがプリントされていることを確認してください。

著作者	富士ゼロックス株式会社
発行者	富士ゼロックス株式会社
	ドキュメント プロダクト&サプライ カンパニー
	ヒューマンインターフェイスデザイン開発部

発行年月	2003年9月 第1版
	2003年10月 第2版
	帳票 No. ME3218J1-1